

「新興・再興ウイルス感染症に対する取り組み」

日時：2021年11月2日（火） 10:30～16:20

開催形式：WEB開催

開催趣旨

医学の発展により、人類はこれまでに様々な感染症を克服してきた。しかし、ここ数十年の間に、エボラ出血熱、エイズ、重症急性呼吸器症候群（SARS）、中東呼吸器症候群（MERS）といった新興感染症が人間社会に出現しており、世界的に大きな問題を引き起こしている。現在パンデミックを起こしている新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、未だ流行の勢いは衰えず、世界保健機関の報告によると、2021年8月10日現在、COVID-19の感染者数は2億人を超え、死亡者数は430万人にも上っている。本セミナーでは、感染症制圧を目指して日々奮闘している研究者が、COVID-19などの新興・再興ウイルス感染症の疫学研究、病態・病原性解析、およびワクチン開発研究について、最新の知見を紹介する。

演題・演者：(《*》：コーディネーター)

松浦 善治 大阪大学感染症総合教育研究拠点 大阪大学微生物病研究所
拠点長/特任教授《*》

10:50-11:40 「エボラ出血熱の制圧に向けて：ワクチン開発研究とシオラレオネにおける取り組み」

渡辺 登喜子 大阪大学微生物病研究所 感染機構研究部門分子ウイルス分野 教授《*》

11:40-12:30 「感染症の征圧を目指して」

河岡 義裕 国立国際医療研究センター 国際ウイルス感染症研究センター長
東京大学医科学研究所 ウイルス感染部門 特任教授

-昼食-

13:40-14:30 「SARSとMERSがもたらしたウイルス学的な問題と対策」

神谷 亘 群馬大学大学院医学系研究科 生体防御学講座 教授

14:30-15:20 「COVID-19の疫学的特徴と対応の課題」

押谷 仁 東北大学大学院医学系研究科 微生物学分野 教授

15:20-16:10 「ワクチン開発研究の新展開；mRNAワクチンと核酸アジュバントの次へ」

石井 健 東京大学医科学研究所 感染・免疫部門 ワクチン科学分野 教授



■ 申込方法：参加希望者は、当財団のホームページの「参加申込・受付フォーム」から

10月29日までにお申込み下さい。 <http://www.senri-life.or.jp>

定員(500名)になり次第締め切ります。

参加予定者には、開催日前に参加方法をお知らせします。

■ 申込 先：セミナーS4事務局 E-mail: dsp-2021@senri-life.or.jp

FAX: 06-6873-2002 TEL: 06-6873-2001

主催：公益財団法人 千里ライフサイエンス振興財団